

F₁トウモロコシの栽植密度と収量

—府県を中心にして—

1. F₁トウモロコシの安定した生産を行うポイント

- ① 早播
- ② 堆きゅう肥, 化成肥料の適正水準の施用
- ③ 適正な栽植密度遵守
- ④ 除草剤の利用

2. F₁トウモロコシの早晩性と栽植密度

数年の試験結果から同一栽植密度での収量を図1に示しました。

早生で低収, 晩生で多収(個体重の軽重を反映)

栽植密度を変えた場合の収量を図2に示しました。

適正な栽植密度であれば早生でも乾物1.5トンが確保でき, しかも子実割合の高いトウモロコシサイレージが調製できます。

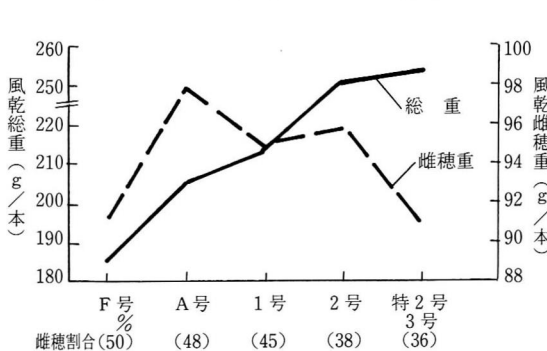


図1 個体当りの風乾物総重と雌穂重
注 栽植密度 6,667本/10a

雪印種苗(株)千葉研究農場

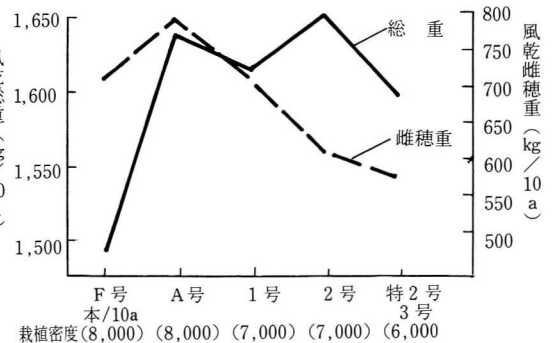


図2 栽植密度を異にした風乾総重と雌穂重

雪印種苗(株)千葉研究農場

3. 収穫時の目標本数と播種量

収穫時の目標本数に対して約10%のロス(発芽時の虫害, 鳥害)を見こみ播種しましょう。表1に播種量, 畦幅, 株間の実例を示しました。

表1 品種と播種量 (300g/1,000粒, 10a当り)

品 種 名	早 晩 性	収穫時の 目標本数	播種粒数	播 種 量	畦 幅 × 株 間
バ イ オ ニ ア F 号	極 早 生	8,000 本	8,888 粒	3.0 kg	69 cm × 16 cm 75 × 15
ス ノ ー デ ン ト A, 1 号 バ イ オ ニ ア A, 1, 2 号	早~早中生	7,000	7,777	2.6	69 × 19 75 × 17
ス ノ ー デ ン ト 2 号 バ イ オ ニ ア 特 2 号	中~中晩生	6,500	7,222	2.4	69 × 20 75 × 18
ス ノ ー デ ン ト 3 号 バ イ オ ニ ア 3 号	晩 生	6,000	6,666	2.2	69 × 22 75 × 20